

2 代謝・栄養・侵襲 用語ガイドライン

和文表記からの検索

和文表記	英文表記	略語	解説・備考
【あ行】			
亜鉛	zinc	Zn	原子番号30, 原子量65.38. 金属元素. 亜鉛を含む塩の多くは薬品として用いられる.
亜鉛欠乏症	zinc deficiency		亜鉛を含有しない静脈栄養や経腸栄養の施行, 亜鉛を高濃度に含有する膵液などの消化液喪失によりおこる. 脂漏性湿疹様皮疹, 下痢, 味覚喪失, 口内炎, リンパ球減少, アルカリフォスファターゼの低下などを呈する. 自然食品の摂取で栄養がまかなわれている場合には通常発症しない.
悪液質	cachexia		悪性腫瘍の増殖・進行に伴って生じる慢性あるいは亜急性の栄養障害状態. 食欲の低下とともに筋蛋白の崩壊, 体脂肪の異化亢進を認め, 貧血, 電解質異常や浮腫を生じる. 悪液質をおこす原因としては, 腫瘍自体の発育による栄養素の搾取, 腫瘍からの出血や蛋白漏出, 腫瘍の存在による消化・吸収障害に加え, サイトカインの関与などが考えられている.
アゴニスト	agonist		受容体と結合してその変化をもたらす, 細胞内情報伝達機構を介して種々の生理作用を示す物質.
アシドーシス	acidosis	Asn	生体内にpHを下げる異常な病態が存在する状態. HCO_3^- の喪失, H^+ の排泄障害や産生亢進による代謝性アシドーシスと, PCO_2 の上昇によって起こる呼吸性アシドーシスに分類される.
アシルCoA	acyl coenzyme A		補酵素AのSH基にアシル基が結合した化合物. アシル基とは, カルボン酸 RCOOH のカルボキシル基 $-\text{COOH}$ から OH を除いた残りの原子団 $\text{RCO}-$ の総称. ここでRは炭化水素基. アシル基にはアセチル基, ベンゾイル基, アロイル基などがある.
アスパラギン	asparagine		非必須アミノ酸の一つで分子量は132.12. アスパラギン酸の $-\text{アミド}$. 生体内では, アスパラギン酸, アンモニア, ATPより合成される.
アスパラギン酸	aspartic acid	Asp	非必須アミノ酸の一つで分子量は133.10. アスパラギンの加水分解によって得られる. TCA回路とオルニチン回路の両方に連結する代謝上重要なアミノ酸である. また, 核酸の構成成分であるプリン, ピリミジンの前駆体となる. そのほか補酵素acetyl (CoA)の前駆体となり, アラニンの生合成にもあずかっている.

アセチル化	acetylation		アシル化の一つで有機化合物中の水酸基 - OHやアミノ基 - NH ₂ の水素原子がアシル基の1種であるアセチル基CH ₃ CO - によって置換される反応をいう。アミンの窒素原子と結合している水素原子や、アルコールおよびフェノール中の酸素原子と結合している水素原子はとくにアセチル化を受けやすく、これらを区別するために各々をN - アセチル化, O - アセチル化と称することがある。
アセチルCoA	acetyl coenzyme A		補酵素AのSH基と酢酸のカルボキシル基がチオエステル結合したもの。グルコースおよび脂肪酸の代謝によって供給される。糖質, 脂質, アミノ酸の代謝に関与し, 脂肪酸やステロールの生合成に用いられる。アセチル化剤としてアセト酢酸, アセチルコリン, アセチルスルファニルアミド, N - アセチル糖などの合成に関与するとともに, ペプチド鎖のN - 末端のアセチル化によるクエン酸回路の入り口となる物質でもあり, アセチル補酵素Aとオキサロ酢酸が反応して, クエン酸と補酵素Aが形成される。
アセトン	acetone		アセト酢酸の脱炭酸による生成物。
アナフィラキシー	anaphylaxis		すでに感作されている物質に再び曝露された時, 主にIgE抗体を介する免疫学的抗原抗体反応により肥満細胞や好塩基球からヒスタミンやロイコトリエン, プロスタグランジンなどの化学伝達物質が放出され, 即時型の全身反応が急激に起こる病態。
アニオンギャップ	anion gap	AG	陰イオンのうち通常の臨床検査で測定されない燐酸, 硫酸, 有機酸, 陰性荷電した蛋白などの総和。簡易的に次の式により算出される。(1)AG = Na ⁺ - (Cl ⁻ + HCO ₃ ⁻) (2)AG = (Na ⁺ + K ⁺) - (Cl ⁻ + HCO ₃ ⁻)
アポ蛋白	apoprotein		アポ酵素と同義語。酵素の担体をなす蛋白質成分で, これに補酵素coenzymeを加えると全酵素holoenzymeとして作用する。
アポトーシス	apoptosis		外界からの刺激による細胞障害の結果として, あるいは個体の成長や維持に必要なプログラムされた結果として, 特徴的な形態学的変化を伴う細胞の死滅で, 生じたアポトーシス小体は, 周囲の細胞に速やかに貪食される。
アポリポ蛋白	apolipoprotein		リポ蛋白の構成成分。A - 1, A - 2, B - 48, B - 100, C - 1, C - 2, C - 3, Eなどがあり, 様々な割り合いのトリグリセリド, コレステロール, リン脂質とともに各種のリポ蛋白を構成する。

アミノ酸	amino acid		1分子内にアミノ基とカルボキシル基をもつ有機化合物の総称．蛋白質の基本構成単位．蛋白質から分離されたアミノ酸は，ほとんどがアミノ基とカルボキシル基とが同じ炭素原子に結合し，一般式R - CHNH ₂ - COOHで示される - アミノ酸である．Rは脂肪族，芳香族，複素環式の置換基を示す．アミノ基が順次，隣の炭素原子に移るにつれて - アミノ酸， - アミノ酸， - アミノ酸と称されるが，一般にアミノ酸といえば - アミノ酸をさす．自然界で発見されているアミノ酸数は360以上．アミノ酸には，L型とD型の二種の光学異性体が存在するが，天然のアミノ酸は全てL型．ヒト蛋白質を構成する主要アミノ酸は，脂肪族アミノ酸，芳香族アミノ酸，複素環式アミノ酸に大別される．脂肪族アミノ酸にはグリシン，アラニン，バリン，ロイシン，イソロイシン，セリン，トレオニン，アスパラギン酸，グルタミン酸，アスパラギン，グルタミン，リジン，ヒドロキシリジン，アルギニンがある．芳香族アミノ酸にはフェニルアラニンやチロシンがあり，複素環式アミノ酸としてはトリプトファン，ヒスチジン，プロリン，ヒドロキシプロリンなどがある．これらに加え，含硫アミノ酸にシステイン，シスチン，メチオニンが分類される．
アミノ酸インバランス	amino acid imbalance		アミノ酸混合物において，あるアミノ酸の過不足によって悪影響を生じる栄養上の現象で，原因アミノ酸の補正によって回復する範囲のものをいう．
アミン	amine		アンモニア (NH ₃) のHを炭化水素基で置換した化合物の総称．生体アミンとしてはチラミン，ノルアドレナリン，ヒスタミン，セロトニンなどがある．一般にアミンには生物学的作用の強力なものが多い．
アラニン	alanine	Ala	- アラニンは非必須アミノ酸の一つで分子量89.09．生体内ではピルビン酸から合成され，このピルビン酸を経てTCA (トリカルボン酸) 回路に通ずる． - アラニンの分子量は89.09でタンパク質中には存在しない．パントテン酸，カルノシン，アンセリン，補酵素Aの構成成分として存在するほか，マメ科植物の根粒やイヌ，ブタ，ウシなどの大脳に遊離の状態が存在し，生物学上重要なアミノ酸である．
アラニン - グルコース サイクル	alanine glucose cycle		glucose alanine cycle (可) グルコースの解糖によって生じたピルビン酸が筋肉内でグルタミン酸と反応してアラニンとなる．筋から放出されたアラニンは肝に取り込まれ，糖新生の基質となる．肝で新生されたグルコースは筋肉に取り込まれてピルビン酸に代謝され，アラニンの合成が続くことになる．これをalanine glucose cycleと称する．
アルカリ性血症	alkalemia		血液pHが上昇し，おおよそ7.50以上になった状態．アルカリ性血症ともいう．
アルカローシス	alkalosis		生体内にpHを上げる異常な病態が存在する状態．HCO ₃ ⁻ の排泄障害もしくはH ⁺ の喪失による代謝性アルカローシスと，PCO ₂ の低下によって起こる呼吸性アルカローシスに分類される．

アルギニン	arginine	Arg	非必須アミノ酸の一つで分子量は174.21。グアニジノ基を有するために強塩基性を示す。尿素回路の構成成分であり、シトルリンとアスパラギン酸から生成され、アルギナーゼの働きによって尿素とオルニチンに分解される。アンモニアや大量のアミノ酸の毒性に対し解毒作用を有する。脳組織にはアルギナーゼが存在し、 α -グアニジノ酪酸の前駆体であるアルギニンの量を調節している。食品タンパク質としては動物性タンパク質、とくに魚類の白子に多く、また穀類タンパク質にも相当量含まれており、栄養的に不足することはない。なお、グリシンと結合してグリコシアミンとなり、Sアデノシルメチオニンからメチル基を受けてクレアチンを生成する。
アルドステロン	aldosterone		副腎皮質から分泌されるステロイドホルモンの一つで、鉱質コルチコイドの代表である。腎における水とNaの再吸収とKの排泄を促す。レニン-アンギオテンシン系によって産生分泌が亢進する。
アンジオテンシン	angiotensin		アンジオテンシン(可)動物種によって多少配列の異なるデカペプチド。通常アンジオテンシン1をさす。血管収縮作用を有する。デカペプチド-テトラペプチドであるアンジオテンシノーゲンから酵素作用を有するレニンの働きによってアミノ酸残基4個が除去されてつくられる。ペプチターゼがさらに2個のアミノ酸残基を除去し、強力な昇圧作用を有し副腎におけるアルドステロンの生成、遊離を刺激するオクタペプチド、アンジオテンシン2となる。
安静時エネルギー消費量	resting energy expenditure	REE	resting metabolic expenditure (RME)。BEE測定の条件を満たさない条件下で測定されたエネルギー消費量。BEEとの差は3%以内と言われている。実用的にはREEとBEEはほぼ等しいと考えて良い。
アンタゴニスト	antagonist		受容体に結合し、アゴニストの効果を阻害するが、それ自体は受容体と結合しても阻害効果を発揮できない物質。
インスリン様成長因子1	insulin like growth factor - 1	IGF - 1	ソマトメジン - C (somatomedin C) - growth factorの一つである。成長ホルモン分泌に鋭敏に反応して諸臓器で産生される。蛋白合成を促進して蛋白分解を抑制するといわれており、臨床応用も試みられている。
胃管排出能	gastric tube emptying	Ile	食道亜全摘後に再建臓器として用いられた胃管の排出能、胃管内への食物停滞は、良好な栄養状態維持に不利益を及ぼす。
イソロイシン	isoleucine		必須アミノ酸の一つ。食品タンパク質に広く分布するため欠乏することはない。イソロイシンは、体内でメチルアセトアセチル補酵素Aを経て、プロピオニル補酵素Aとアセチル補酵素Aに変化する。

一酸化窒素	nitric oxide	NO	血管内皮細胞やマクロファージなどで一酸化窒素合成酵素（nitric oxide synthase:NOS）により，L - アルギニンから産生される．NOSには，血管内皮細胞に常在するcNOS（constitutional NOS）と血管内皮細胞やマクロファージにより侵襲時にサイトカイン等によって誘導されるiNOS（inducible NOS）とがある．NOには神経伝導，血管拡張，血小板凝集の抑制など多彩な作用がある．吸入させ，気道に投与すると肺血管の収縮を抑制する効果も得られ，臨床応用もなされている．
胃瘻	gastrostomy		胃の内腔と腹部皮膚との間に人工的に作成された交通．主として栄養の投与経路として使用される．開腹下に造設する方法と内視鏡を用いて作成する方法とがある．
陰イオン	anion		中性の原子または原子団に整数個の電子が加わったもの．
インスリン	insulin		膵ランゲルハンス島の細胞より分泌されるホルモン，S - S結合を一つ持ちアミノ酸21個からなるA鎖と，アミノ酸30個からなるB鎖が二つのS - S結合で結合した分子量5734のポリペプチド．一本のポリペプチドとして合成され，その後C鎖が切断されて前述した活性型となる．細胞内へのブドウ糖の取り込みを促す作用を有する．生体内において血糖を降下させる唯一のホルモン．インスリンの欠乏や組織のインスリンに対する反応性の低下は高血糖状態，いわゆる糖尿病を引き起こす．糖尿病下の細胞内はブドウ糖欠乏状態となり，エネルギー供給源をタンパク質，脂肪に依存するようになる．その結果，タンパク質からの糖新生，脂肪の異化亢進，高脂血症が惹起され，血管系病変を中心とした数々の合併症をもたらす．
インスリン感受性	insulin sensitivity		インスリン受容体の結合部位数の増減などによるインスリンに対する反応の度合い．
ウイルス感染	viral infection		生体内に侵入したウイルスにより細胞障害，組織障害がおこり，局所的あるいは全身的な悪影響が生ずること．
ウロン酸	uronic acid		アルデヒド基とカルボキシル基とをもつ糖の誘導体の総称で，天然にはグルクロン酸，マンヌロン酸，ガラクトロン酸，L - イズロン酸の4種が存在する．D - グルクロン酸はD - グルコースのウロン酸に相当するもので，コンドロイチン硫酸などのムコ多糖類の構成成分である．また，種々の化合物と抱合してその解毒に与る．D - マンヌロン酸はアルギン酸中に，D - ガラクトロン酸はペクチン中に，L - イズロン酸はヘパリンなどに存在する．
ウロン酸経路	uronic acid pathway		グルクロン酸回路の別名．

エイコサペンタエン酸	eicosapentaenoic acid	EPA	不飽和脂肪酸の一つで、油状の液体。サケ、サバ、イワシなどの魚油中に多く含まれる。虚血性心疾患の発生率が低いエスキモーで血中の脂肪酸を調べると、白人に比べてアラキドン酸（エイコサテトラエン酸）が少なくEPAが多いことが1976年に報告され、寒帯に住む脂肪分の多い魚を多量に食べる集団でも、同様の結果が得られた。その後EPAに血小板凝集抑制作用のあることが認められ、動脈硬化症予防の観点から注目されている。
栄養管理チーム	nutritional support team	NST	栄養評価、栄養治療の対象となる患者は、外科、内科、小児科のみならず、ほとんどの診療科に存在する。診療科横断的な中央システム管理によって、これら院内患者すべてに静脈栄養、経腸栄養を行い、さらに在宅栄養管理中の患者の管理にもあたるチームをNSTと呼んでいる。医師、看護婦、薬剤師、事務職員などで構成する。現在のところ、わが国では、本システムはあまり普及していない。
栄養欠乏	nutritional deficiency		栄養（素）の摂取量がその需要を満たしていない状態。全般的な栄養摂取量不足によるもの（protein calory malnutrition）と特定の栄養素の不足に分けられる。
栄養指数	nutritional index		栄養状態を総合的に数値化したもの。
栄養失調	malnutrition		慢性あるいは亜急性のエネルギー欠乏状態。
栄養指標	nutritional parameter		栄養状態の評価に用いられる変数。
栄養障害	nutrition (al) disorder		nutritional disturbance（可）比較的軽度の栄養失調。
栄養所要量	dietary allowance		健康な生活をおくるために一日に摂取する事が望ましい栄養量。
栄養評価	nutritional assessment		栄養アセスメント（可）臨床データ、食物摂取データ、身体組成データ、生化学データを収集し、栄養不良状態の患者を判定して適切な栄養療法を計画すること。
栄養補給部門	nutritional support service	NSS	上記のNSTが所属する部門をNSSと呼ぶ。
液性因子	humoral factor		humoral mediator（可）血漿中に存在する可溶性の生理活性物質。しばしばサイトカインを指す言葉として使用される。
エネルギー消費量	energy expenditure		単位時間内（通常一日）に消費された熱量の総和。
エネルギー出納	energy balance		単位時間内に生体内に摂取された栄養の総熱量から消費された総熱量を差し引いたもの。
エネルギー代謝	energy metabolism		熱量を産生する物質代謝の総称。
LEC ラット	Long Evans Cinnamon rat		LEA（Long Evans Aguti）ラットから自然突然変異で（LEC）生じたもので肝炎を自然発生、約半数は死亡、生存群ではその後肝癌を発症する。
塩基	base		酸の性質を打ち消す性質をもつ物質。酸に電子対を与えて酸と共有（配位）結合をつくる物質。

塩基過剰	base excess	BE	代謝性アルカローシスとほぼ同義．一次的に血漿 HCO_3^- 値を上昇させるプロセスが存在している病態．
塩基欠乏	base deficit		代謝性アシドーシスとほぼ同義，一次的に血漿 HCO_3^- 値を低下させるプロセスが存在している病態．
炎症性サイトカイン	proinflammatory cytokine		生体に加えられた侵襲に引き続いて単球やマクロファージ，好中球，リンパ球，血管内皮細胞などから放出され，炎症反応を惹起するサイトカイン．IL - 1，IL - 6，TNF - などがある．
炎症性腸疾患	inflammatory bowel disease	IBD	慢性非感染性非特異性腸炎の総称でceliac sprue，潰瘍性大腸炎，Crohn病，放射線照射性腸炎の慢性型，Whipple病などが含まれる．しばしば潰瘍性大腸炎とCrohn病の二者を指す言葉として使用される．
塩素移動	chloride shift		塩素イオン移動とも言われる．赤血球中の炭酸デヒドラターゼにより血中の CO_2 は $\text{CO}_2 + \text{H}_2\text{O} \rightleftharpoons \text{H}_2\text{CO}_3$ の反応で速やかに炭酸となり，その大部分が解離して $\text{H}^+ + \text{HCO}_3^-$ となる．血中の主要緩衝系であるヘモグロビン (Hb) は， $\text{H}^+ + \text{K}^+\text{Hb} \rightleftharpoons \text{HHb} + \text{K}^+$ の式に従って H^+ を結合し，その結果 HCO_3^- が遊離する．これは赤血球膜を通過して血漿中に拡散していくが，赤血球内の電気的中性を維持するために血漿中から同モルの塩素イオン (Cl^-) が赤血球膜を通過して細胞内に入っていく．赤血球膜を通過 HCO_3^- と塩素イオンの間の交換が塩素移動と呼ばれる．これにより静脈赤血球中の塩素イオン濃度が動脈赤血球中より高くなる．また，この反応により血液による CO_2 輸送の 70% が行われる．
エンドトキシン	endotoxin		内毒素．周囲の培地に自由に放出されない細菌毒素．リン脂質と糖類の高分子複合体で，グラム陰性菌の細胞壁の構成成分．比較的耐熱性があり多くの外毒素 (exotoxin) より毒力が弱く特異性もない．生体に投与すると下痢，白血球増多から白血球減少，発熱，血圧低下を引き起こす．
エンドトキシン血症	endotoxemia		内毒素が循環血液中に侵入した状態．グラム陰性菌の感染に起因する．内毒素の侵入門戸としては尿路，胆道，腹腔内感染巣などが多い．しばしば菌体そのものの侵入を伴う．発熱，悪寒，戦慄を伴って急激に発症し，急性の循環不全 (ショック) から多臓器不全 (multiple organ failure, MOF)，DIC (disseminated intravascular coagulation) を併発しやすい．二次的に脳膿瘍，化膿性関節炎，骨髄炎など転移多発性膿瘍を形成することがある．
塩類欠乏	salt deficiency		電解質，とりわけNa，Cl，Kの不足状態．摂取量の不足や異常な喪失によって引き起こされる．塩類の異常喪失を惹起する病態には下痢や嘔吐，消化管痙攣，リンパ腫，ホルモン異常，ホルモン様物質産生腫瘍などがある．

塩類欠乏性脱水症	salt deficit dehydration		Na欠乏性脱水症（可）水の欠乏量相当以上にNaの喪失がある脱水．NaCl 0.5 g/kg以上の欠乏．血清Na濃度は低下して低張性となり，水分は細胞外から細胞内に移動して細胞外液量は一層減少する．血漿浸透圧の低下はADHの分泌を抑制するために尿量は減少せず，細胞外液量はさらに減少して早期より循環不全を呈する．検査上血液濃縮のためヘマトクリット値の上昇がみられ，細胞外液量減少のための症状が強く認められるが，口渇は軽度である．細胞内への水の移動のため，脳浮腫など細胞内水中毒の症状を呈する．
オキシダーゼ	oxydase		広義には，生物体内にあって酸化反応を触媒する酵素の総称．酸化酵素．狭義には，このうち分子状酸素を直接水素受容体として基質を酸化する酵素．現在では，国際的規約によりオキシダーゼという名称は後者の場合にのみ用いられる．
オキシダント	oxidant		化学用語としては酸化作用をもつもの，すなわち酸化体のこと．現在では，大気中の窒素酸化物，炭素化合物が紫外線などによって複雑な化学変化をおこして生じた強い酸化性のある物質の総称としても使用される．光化学スモッグの原因として社会的問題にもなった．
汚染	contamination		汚れ染まること．大気や水系，土壤などの環境や建造物，種々の器具，生体表面，生体内などに放射性同位元素や化学物質を含む有害物質，病原微生物が混入・付着・侵入すること．生体に生じた病原微生物による汚染に引き続き，その増殖にともなって生体に不利益な事象が発生した状態を感染と称する．
汚染除去	decontamination		汚染を物理的，化学的，薬理学的手法によって取り除くこと．
オプソニン	opsonin		細菌の表面に付着して食細胞に貪食されやすくする物質．補体がその役割を果たす．
オプソニン活性	opsonic activity		オプソニン効果を発揮する能力．
オプソニン指数	opsonic index		オプソニン活性の強弱を示すもの．対象（患者）血清でm個の白血球にK個の細菌が貪食され，健常血清はn個の白血球にN個の細菌が貪食されるとすれば， Kn/Nm がオプソニン指数である．
オメガ 3 脂肪酸	3 fatty acid		n - 3 fatty acid , n - 3 脂肪酸（可）．
オリゴ糖類	oligosaccharide		二つないし六つの単糖がグルコシド結合をおこなったもの．二分子の糖の場合を二糖類（disaccharide），三分子の糖の場合を三糖類（trisaccharide）と称する．

和文表記	英文表記	略語	解説・備考
【か行】			
カウプ指数	Kaup index		体重 (g) / 身長 (cm) ² × 10 肥満指数。
核酸	nucleic acid		ヌクレオチドの高分子ポリマーで塩基とペントース OOH基にエステル結合したリン酸とが結合して形成される。細胞性核酸はデオキシリボ核酸とリボ核酸がある。塩基組成はアデニン、グアニン、シトシン、ウラシル、チミンからなる。
核酸成分液	nucleic acid solution		静脈内投与を目的として開発中のヌクレオチド、ヌクレオチド混合液。
過剰栄養	hyperalimantation		必要とされる消費エネルギー以上の熱量を経静脈的あるいは経腸的に投与すること。
かっけ・脚気	beriberi		ビタミンB ₁ 欠乏により起こる。多発性神経炎性障害を特徴とする。ビタミンB ₁ 欠乏症として最初に捉えられた病態。1920年代の日本に多発した。
活性化エネルギー	activation energy		分子が結合状態に入りやすくするために追加されなければならないエネルギー量。生体内では触媒と酵素が必要とされる活性化エネルギー量を減らして反応を容易にする役割をしている。
活性型B ₁	thiamine pyrophosphate	TPP	ビタミンB ₁ は活性化されたチアミンピロリン酸となる。活性化ビタミンB ₁ が不足するとピルベートデヒドロゲナーゼ活性が低下してピルビン酸からアセチルCoAへの代謝が阻害され、ピルビン酸-乳酸が蓄積して代謝性アシドーシスを引き起こす。
カテーテル感染症	catheter related infection		カテーテル敗血症 catheter related sepsis カテーテル熱ともいう。TPN用カテーテル留置により発熱、白血球増多などの感染症状を呈すること。
カテコールアミン	catecholamine		カテコラミン(可)。
顆粒球マクロファージコロニー刺激因子	granulocytemacrophage colony stimulating factor	GM-CSF	マクロファージまたは骨髄ストローマ細胞から分泌される糖蛋白。顆粒球系、マクロファージ、好酸球などの骨髄球系前駆細胞の刺激因子として機能する。
カロリー	calorie		熱量の単位としてはkcal, kJ (joule)。Calは用いない。
カロリー/N比	Cal/N ratio	Cal/N	1g窒素に対する熱量の割合。単位はkcal/g。総熱量か非蛋白熱量かを明記する。
肝NK細胞	liver natural killer cell		肝に存在するナチュラルキラー細胞(NK細胞)：NK細胞の項参照。
癌悪液質	cancer cachexia		担癌時に生じる蛋白熱量栄養不良状態をさす。栄養摂取の減少に加えて、癌組織からcachectin(悪液質誘導物質)が分泌され筋肉や脂肪組織の萎縮が引き起こされる。
肝エネルギー代謝	hepatic energy metabolism		肝阻血時、再灌流時などの肝細胞の状態をATP, ADP, AMP, Pなどの組織(細胞)内濃度を測定して、エネルギーの蓄積状態から活性度を見ようとするもの。

間欠的	intermittent		間歇的（可）。
間欠的完全静脈栄養	intermittent TPN		間欠的に静脈栄養を行う。休止期には輸液を投与しない。
間欠的高カロリー輸液	intermittent hyperalimentation		
肝硬変症	liver cirrhosis		結節再生，線維化，肝小葉構造の改築などを伴った肝実質性細胞の広範な損傷を特徴とする進行性の肝疾患。
肝再生	hepatic regeneration		肝切除後，肝細胞は活発に分裂増殖し，短期間に肝はもとの大きさに戻る。この現象を肝再生と言う。肝再生時にはTGF やHGF等の増殖因子が産生される。
カンジダ抗原	candida antigen		カンジダ感染症の発見のために行う血液検査で，菌体の発見に代えてカンジダ菌体の細胞質成分に含まれ，熱や酵素に感受性の易熱生/プロテアーゼ変性糖蛋白抗原を測定するもの。ラテックス凝集反応を利用してこれを検出するCand Teckキットなどがある。
間接熱量測定	indirect calorimetry		呼気中のCO ₂ 排泄量とO ₂ 消費量を測定し，安静時エネルギー消費量および呼吸商を算出するもの。
完全静脈栄養	total parenteral nutrition	TPN	現時点で投与可能な全ての栄養素を含んだ輸液剤を用いて，他の栄養法を併用せずに必要な熱量を静脈内に投与する方法。
肝マイクロフィラメント	microfilament in the liver		微小管，中間径フィラメントと共に肝細胞の細胞骨格をなす。肝細胞の周辺を取り巻く他に，類洞側のDisse腔へ進展する微絨毛内とその基底部分，細胞間接合部，毛細胆管微絨毛内とその周辺にあって胆汁分泌に関与すると言われる。構成成分としてアクチン，ミオシンが知られる。
含硫アミノ酸	sulfur containing amino acids		分子中に硫黄（S）を含むアミノ酸。cystein, cystine, methionineがこの仲間。
偽性腸閉塞	pseudointestinal obstruction		明らかな閉塞機転の無い慢性腸閉塞症。
D - キシロース吸収試験	D xylose absorption test		消化吸収試験の一つ。経口的に投与されたD - キシロースの尿中への排泄量を測定する。
基礎エネルギー消費量	basal energy expenditure	BEE	basal metabolic rate（BMR）。安静時基礎代謝に必要なエネルギー量。食事摂取から最低12時間以上経過しているときの安静臥床覚醒時の酸素消費量，二酸化炭素産生量より求める。
基礎代謝量	basic metabolic energy	BME	安静時に必要なエネルギー量。
急性呼吸窮迫症候群	acute respiratory distress syndrome	ARDS	従来はadult respiratory distress syndromeであったが，1992年のThe American European consensus conference on ARDSでadultからacuteに変更して統一することが決定された。
急性相反応物質	acute phase reactant	APR	侵襲後の急性期に血液中に出現する物質（蛋白）。代表的なものはCRPなどであり，IL 6の作用により産生が誘導され，侵襲の指標となる。多くの物質は急性期に増加するが，逆に減少する物質もある。

急性相蛋白	acute phase protein		急性相反応物質と同義語。
急性相蛋白反応	acute phase protein response		侵襲期に生じる急性蛋白合成亢進が生じ、緊急性のない蛋白合成が低下する減少をさす。
急性肺障害	acute lung injury	ALI	外傷や敗血症などによって肺の血管内皮細胞、肺胞壁の肺胞I型細胞が損傷され、急性の呼吸不全が生じるもの。その発生に好中球や肺胞マクロファージの関与が指摘されている。
凝固因子	coagulation factors		フィブリノーゲン、プロトロンビン、組織因子、 Ca^{++} 、V XIII (VIは欠)
凝固線溶動態	coagulation fibrinolytic dynamism		血液中にフィブリノーゲンが出現し、フィブリン形成に至るカスケード反応と、生成したフィブリンが蛋白分解酵素の作用によって溶解される系にあずかる諸反応物質の動き。
橋中心髄 ^Q 崩壊症	central pontine myelinolysis	CPM	血清Naイオンの急激な上昇によって橋部を中心とした周辺の髄鞘が変性をきたし、意識障害と異常な精神症状を呈する疾患として報告されており、確定的な原因は不明。
虚血	ischemia		血液供給の器質的障害による局所性貧血。
虚血・再灌流障害	ischemia reperfusion injury		虚血により低酸素状態におちいった組織に、再灌流により酸素が送り込まれることで、急速に非可逆性の組織障害が生じる現象。
虚血性低酸素症	ischemic hypoxia		組織の酸素不足を特徴とする組織低酸素。動脈あるいは小動脈の閉塞、あるいは動脈収縮のために起こる。
魚油	fish oil		魚から取れる油で、長鎖の多価不飽和脂肪酸、特にエイコサペンタエン酸を始めとする - 3系脂肪酸を高濃度に含む。
菌血症	bacteremia		循環血液中に生菌が存在すること。
クッファー細胞	Kupffer cell	KC	肝類洞の内皮細胞で著明な貪食能と負電荷膠質吸収性を有する。
グリシン	glycine	Gly	アミノ酸の一種。
グルコース	glucose		ブドウ糖(可)。デキストロースも使われる。
グルタチオン	glutathione		3個のアミノ酸(cystein, glutamic acid, glycin)を内蔵する硫化トリペプチド。動物、植物細胞に非常に広く分布しており、SH基を持つために細胞内の酸化還元反応を調節し、呼吸による酸化反応鎖に寄与する。
グルタミン	glutamine	Gln	グルタミン酸の - アミド体で血中におけるアンモニア輸送の主要形態である。グルタミン合成酵素によりアンモニアとグルタミン酸から合成され、肝および腎臓ではグルタミナーゼの作用によりアンモニアを放出する。小腸のエネルギー源であり、筋肉から肝への窒素の輸送に関与している。
グルタミン酸	glutamic acid	Glu	アミノ酸の一種。グルタミンの合成に関与。
クレアチニン身長指数	creatinine height index		栄養指標の一つ。標準身長当たりの24時間尿中クレアチニン排泄量(基準値)に対する患者の24時間尿中クレアチニン排泄量の比率%で表したものである。

グルコース トランスポータ	glucose transporeter	GLUT	細胞膜に存在しグルコースの細胞内取り込みと GLUT放出を担う輸送単体．GLUT 1 - 5 タイプが存在し，局在する細胞が異なっている．GLUT 4 はインスリン反応性である．
経管栄養	tube feeding		チューブを用いて経腸栄養を行うこと．
経口栄養	oral feeding		口から栄養を摂取することだが，広い意味で経腸栄養に含まれることもある．
経口免疫応答	oral immunization		経口的に投与された抗原物質に対する特異的免疫応答．抗原はパイエル板のリンパ球に認識され，腸管局所の免疫機構が活性化される．感作されたリンパ球は体内を循環した後，腸管に戻って粘膜固有層で抗体産生（主としてIgA）を行う．
経腸栄養	enteral nutrition	EN	消化管を通して栄養投与を行うこと．広義には経口栄養を含む．
経腸栄養剤			咀嚼を要しない経腸栄養用製剤．
経皮内視鏡的 胃瘻造設術	percutaneous endoscopic gastrostomy	PEG	内視鏡にて胃内腔を観察，位置を同定し，ここに上腹部から経皮的にガイドワイヤーを胃内に挿入，これに口から挿入した胃瘻チューブをつなぎ，胃壁，皮下，皮膚を通し体外に誘導，胃瘻を作成する方法．
外科侵襲	surgical stress		外科的処置により生体に加わる侵襲．手術侵襲ともいう．
血液凝固系	blood coagulation system		血管の損傷が生じた後，フィブリンの形成により血液凝固が完成して止血栓が形成されるまでのカスケード反応．10種類ほどの成分が関わる蛋白分解反応であり，内因系と外因系の二つの反応系がある．
血液凝固線溶系	blood coagulation/ fibrinolytic system		血液を凝固する凝固系と血液を溶かす線溶系のバランスが保たれることにより，血液の流動性が維持されている．線溶系の異常があれば凝固が亢進し血栓を形成しやすくなり，凝固系の異常があれば線溶が亢進して止血が困難となる．
血漿アンギオテンシン 変換酵素活性比	plasma angiotensin converting enzyme activity ratio	ACE比	亜鉛欠乏状態の指標に用いられる．
血漿DOA活性	plasma diamine oxidase activity		血漿中の活性が小腸粘膜の増殖と健全性の指標となる．
血小板由来成長因子	platelet derived growth factor	PDGF	血小板のalpha granuleにあって平滑筋細胞や線維芽細胞の増殖を促進させる物質として発見された．BALB/c 3 T 3 細胞培養では単独では作用せず，EGF やIGF 1 の存在下に細胞分裂を刺激する．
血漿遊離アミノ酸	plasma free amino acids		アルブミン等の輸送蛋白に結合していないアミノ酸．
血栓性静脈炎	thrombophlebitis		血栓を合併した静脈の炎症．
抗炎症性サイトカイン	anti inflammatory cytokines		炎症に際して増加する炎症性サイトカインに対して，炎症に抑制的に働くサイトカイン（IL - 10 など）．

高カロリー輸液	intravenous hyperalimentation	IVH	糖質，アミノ酸，電解質を含む栄養液を通常の消費エネルギーと同等あるいはそれ以上の熱量で経静脈的に投与する方法．
構造蛋白	structural protein		組織を構成する蛋白で，例えば骨格筋ではミオシン，アクチン，トロポニンT等が含まれる．
高速液体クロマトグラフィー	high performance liquid chromatography	HPLC	溶液中の物質混合物の分離定量に用いる．サンプルをカラムおよび検出器と移動する溶液移動相に注入する．分離はカラム通過時に吸着，分配，イオン交換，サイズ排除によって起こる．
好中球	neutrophil granulocyte		顆粒球で，幾つかに分葉した核を持ち，サイトカインとしてロイコトリエンを産生する．
好中球エラスターゼ	polymorphonuclear neutrophil elastase	PNE E	好中球は組織障害因子のmediatorの一つとして強力な中性蛋白分解酵素であるエラスターゼを持っている．このエラスターゼは，炎症や敗血症の病態に関与している．
好中球エラスターゼ阻害剤	polymorphonuclear neutrophil elastase inhibitor		好中球エラスターゼ阻害作用をもつ物質．生体内にはアルファ-2マクログロブリンとアルファ-1プロテアーゼインヒビターが存在し，薬剤としてはウリナスタチンがエラスターゼ阻害作用を有している．
高分子栄養剤	polymeric diet		加水分解処理を受けず天然の蛋白や炭水化物のみで構成される栄養剤．
呼吸商	respiratory quotient	RQ	呼吸による単位時間当たりの二酸化炭素排泄量と酸素摂取消費量の容積比．代謝物質により値が異なる．
五炭糖リン酸回路	hexose monophosphate pathway		
コレシストキニン	cholecystokinin	CCK	ポリペプチド性小腸ホルモン．十二指腸および上部小腸に分布するI cellから分泌され neurotransmitterとして胆のうに直接作用してその運動を高める．膵臓に対しては膵液分泌刺激を有する．
コンドロイチン硫酸鉄コロイド	chondroitin sulfate iron colloid		負の電荷を帯びた安定したコロイド粒子で，異物として認識された細網内皮系で貪食されるため，細網内皮系の機能評価に用いられる．
コンドロイチン硫酸鉄コロイドテスト	chondroitin sulfate iron (CSFe) colloid test		細網内皮系 (RES) 細胞の貪食機能の検査法として検討されている方法である．
コンパートメントモデル	compartment model		糖，アミノ酸などの栄養基質の体内動態を評価する際，それぞれがプールされる分画をモデルとして，そのプールに出入りする物質の速度と量を測定してそれぞれの基質の合成速度，分解速度などを算出する．

和文表記	英文表記	略語	解説・備考
【さ行】			
サイクリックTPN	cyclic TPN		種類の異なる輸液剤を順繰りに投与する静脈栄養。
在宅経腸栄養法	home enteral nutrition	HEN	患者自身が在宅で口または鼻から胃内まで5～10Frの経管栄養チューブを挿入し、または胃瘻や腸瘻から栄養を投与する方法である。成分栄養剤や低残渣食を用いる。必須脂肪酸や微量元素の欠乏に注意する。短腸症候群、炎症性腸疾患患者などが、HENの適応となる。
在宅静脈栄養法	home parenteral nutrition	HPN	長期経静脈栄養管理が必要な患者のQOLを高めるため在宅で静脈栄養を行うこと。慢性疾患から悪性腫瘍末期の患者までその適応はひろい。
サイトカイン	cytokine		生体内で細胞間のコミュニケーションをつかさどる分泌蛋白質で体液を通過して細胞表面のレセプターに結合しその活性を発見するものの総称。
細胞障害スコア	cellular injury score	CIS	血中尿酸値、osmolarity gap、動脈血ケトン体比(arterial ketone body rate:AKBR)から算出。
サザン解析	Southern blot analysis		特別なDNA切片の同定および癌やヘモグロビン疾患の診断に用いられる遺伝子分析法。Southern EMにより開発された。アガロースゲル電気泳動によって分画されたDNAをニトロセルロースフィルターに移し、次いで、フィルター上のどのDNAバンドが、目的とする特定の塩基配列をもったバンドであるのかを、放射性同位元素で標識された相補的塩基配列をもったDNAまたはRNAをプローブとして使い、フィルター上でのハイブリダイゼーションで、検出する方法。この方法が開発された後、同様の方法をRNAの検出にも用いるようになったが、これをサザン法に対してノーザン法(Northern method:Northern blot analysis)といい、タンパク質に適用した場合、例えば、ラベルした抗体をプローブとして使い、抗原の検出を行うような場合はウエスタン法(Western method:Western blot analysis)と呼ばれている。
サリーベラループ	Thiry Vella fistula		Thiry L, Vella Lの2名によって開発された。実験動物において作成される腹腔内の腸管から遊離、独立した腸管グループ(係蹄)で、小腸の一部を遊離し、この腸管分節の両端を腹壁の2ヶ所に開口させたものである(残りの腸管は腹腔内で端端吻合)。腸管の吸収や分泌の研究などに用いられる。
酸化還元電位	redox state		化学反応で相互の酸化と還元が起こる現象。reduction oxidation。NAD ⁺ /NADH比で表される。ミトコンドリアの酸化還元電位(Mt redox state)と細胞質の酸化還元電位(cytosol redox state)とがあり、前者はアセト酢酸(acetoacetate)と ⁻ 水酸化酪酸(hydroxybutyrate)の比(ケトン体比:ketone body rate:AKBR)によって捉え得るといふ。

酸化ストレス	oxidative stress		reactive oxygen species (ROS) の産生速度が処理能力 (Vit.E, 酵素, 細胞防御) をまさる時に生じる。
酸性フォスファターゼ	acid phosphatase		
酸素消費量	oxygen consumption	VO ₂	$VO_2 = C(a - v)O_2 \times CO \times 10 \quad (\text{ml/min})$ $CaO_2 = \text{arterial blood } O_2 \text{ content}$ $= (\text{Hb} \times SaO_2 \times 1.39) + (0.0031 \times PaO_2)$ $CvO_2 = \text{mixed venous blood } O_2 \text{ content}$ $= (\text{Hb} \times SvO_2 \times 1.39) + (0.0031 \times PvO_2)$
酸素負債	oxygen debt		運動や無呼吸からの回復期に運動 (または無呼吸) 前の安静時代謝量レベル以上に体内に取り込まれる酸素量をいう。周囲の環境からの酸素摂取が好氣的代謝には不十分であった期間に消耗したエネルギー貯蓄を補うものである。
酸素ラジカル	oxygen radical		ラジカルとは不対電子を outer orbital に持つ原子で他の ROS (reactive oxygen species) を産生するが拡散距離は短い。種々の細胞毒性 (蛋白融解, DNA 障害, 膜障害) を生ずる。
三頭筋皮下脂肪厚	triceps skin fold thickness	TSF	
CVポート			これを, 皮下に埋めこんでおき, 患者自身または介助者が, このポート内に輸液ボトルからの輸液ライン先端の針を経皮的に刺入することによって随時輸液を開始できる。在宅静脈栄養法や抗癌剤の投与などに用いられる。専用ポートが市販されており, 局所麻酔下でも設置可能である。
脂質過酸化物	lipid peroxides	LOOH	free radical chain reaction はさらに以下の反応を起こす。 $L^* + O_2 \rightarrow LOO^*$ $LOO^* + LH \rightarrow LOOH + L^*$ 脂質過酸化物 (LOOH) の 1 電子の再編 (rearrangement) が起こると脂質の分解が生ずる。分解産物の malondialdehyde が血中, 尿中で検出され, free radical damage の指標とされる。
システイン	cysteine	Cys	
質量分析計	mass spectrometry		第一の質量分析計で試料のイオン化をおこない特定の質量数のイオンを選んで加速し衝突活性化 (collision activation) などで分解させ生成したフラグメントイオンを第二の質量分析計で分析し最初のイオンの構造を解析する方法。ペプチドなどのアミノ酸配列の決定にも利用される。
至適配合比	optimal ratio		適正配合比 (可)。
ジペプチド	dipeptide		
脂肪過酸化反応	lipid peroxidation	L*	多価不飽和脂肪酸 (LH) の水素がフリーラジカルによりとられ lipid radical (L*) が産生される反応。

脂肪乳剤	lipid emulsion		水に溶けない脂肪（トリアシルグリセロール）を界面活性剤である卵黄レシチンで機械乳化したもの．リン脂質である卵黄レシチンの中に脂肪が小滴の形で取り込まれている．
脂肪分解	lipolysis		triacylglycerideが脂肪酸とグリセロールに分解される．
重回帰分析	multiple regression analysis		一方の変数の値から他の値を予測する分析方法を重回帰分析といい，前者を説明変数（explanatory variable），後者を目的変数（criterion variable）という．説明変数が二つ以上の場合が重回帰分析で，最少二乗法で求められる．
重症感染症	severe infection		高度感染症（不可）．
腫瘍壊死因子	tumor necrosis factor	TNF	サイトカインの一つ．抗癌作用を有する体内ペプチド．人工的にも合成される．エンドトキシン等の毒素に反応して体内で産生される．好ましからざる作用としては，toxic shockや悪液質がある．
受容体	receptor		(1)抗原抗体反応に関するレセプター，(2)感覚神経末端の様々な（受容器）レセプター，(3)ホルモン作用が発現するときに，ホルモンが付着する必要がある特異な蛋白部分（receptor site），これは細胞質または細胞膜に存在する．
傷害	injury		構造的な欠陥・損傷．
障害	dysfunction		機能的な欠陥・損傷．
消化管粘膜透過性	intestinal permeability		
消化管附属リンパ組織	gut associated lymphoid tissue	GALT	腸管粘膜の上皮内，粘膜固有層，パイエル板に分布したリンパ球集団で，身体のなかで最大の免疫機構を備えている．
消化態栄養剤	digested diet		消化を必要とせず，小腸から全て吸収される化学的に明らかな成分で構成される栄養剤．
硝酸塩 / 亜硝酸塩	Nitrate / Nitrite		有機硝酸塩または亜硝酸アミルなどの亜硝酸ポリオールは，狭心痛を緩解させる血管拡張剤である．しかし，これがどのような機序で動脈，静脈の平滑筋を拡張させるのかについては必ずしも明らかではない．
晶質液	crystalloid solution		“ 膠質（colloid） ” に対し，塩類，ショ糖，尿素などは，拡散速度が大きく，細胞膜を自由に通過することができ，しかも容易に結晶の形で得られることから，1861年Grahamがcrystalloidと名づけた．アルブミン，デキストラン，スターチなどのコロイドを含まない，乳酸加リンゲル液などの電解質液を，コロイド液に対して一般に晶質液と呼ぶ．
上皮成長因子	epidermal growth factor	EGF	Stanley Cohenにより発見された増殖因子（growth factor）でprotein tyrosine kinase活性を有するEGFに特異な受容体を活性化し細胞増殖を促進する．
静脈栄養	parenteral nutrition	PN	経静脈栄養（可）．

食餌性核酸欠乏	dietary nucleic acid deficiency		自然食栄養では動物および植物細胞を摂食しているために、核酸も同時に摂取しているが静脈栄養や成分栄養では核酸が含まれていないために核酸欠乏状態がおき、免疫機能などが低下する可能性が示唆されている。
食物繊維	dietary fiber		人間の消化酵素では加水分解されない植物性多糖類やリグニン。
心原性ショック	cardiogenic shock		
深在性真菌症	deep seated mycosis		内臓真菌症とも言われる。皮膚、粘膜などの表在ではなく体内に感染巣を有する真菌症。Compromized hostに日和見感染症として見られる。長期のTPNにも合併することがある。
心臓性悪液質	cardiac cachexia		慢性鬱血性心不全で極度の羸瘵、筋肉萎縮、四肢末梢の浮腫などを呈する状態、栄養摂取の障害、末梢循環不全、代謝が原因で起こるとされる。
心タンポナーデ	cardiac tamponade		心臓タンポナーデ（不可）。
身長体重比	weight for height		
推奨栄養所要量	recommended dietary allowance	RDA	
スーパーオキシド	superoxide		分子状の酸素（O ₂ ）が、ヒポキサンチン（hypoxanthine）、キサンチンオキシダーゼ（xanthine oxidase）と反応する系などにより、酸素ラジカル（oxygen free radicals）が生成される。これらの一つが、(1)superoxide radical (O ₂ ^{·-})である。このほか、(2)hydrogen peroxide（過酸化水素水：H ₂ O ₂ ）(3)hydroxyl radical (OH [·])、など種々のものがある。(1)、(2)、(3)はそれぞれ、電子（e ⁻ ）1、2、3ヶで還元されている。
スカベンジャー	scavenger		“コンドルやジャッカルなど、腐肉を食う動物”、“街路掃除人”、“ゴミをあさる人”、などを指す。医学用語としては、free radical scavenger（遊離ラジカル消去剤：superoxide dismutase, catalase, Vit Eなど）、scavenger cell（組織の破片や侵入病原体を貪食する細胞）などのように用いられる。
生体抵抗検査	bio impedance analysis	BIA	二点間で微弱な電流を通じ電気抵抗を測定しbody compositionを評価する方法でfat, fat free mass, TBW（total body water）、ECW（extracellular water）などの測定が可能であるが、精度に関しては疑問視する論文も多い。
生体防衛機能	host defense mechanism		一連の生体の防御システムである。物理的なバリア（皮膚、粘膜）と免疫反応があり、感染性微生物から生体を守っている。local host defenseとsystemic host defenseがあり、後者には貪食細胞、免疫系、molecular cascade（補体、凝固、キニン）が含まれる。

成長因子	growth factor		ある種の細胞の分裂と分化を刺激するサイトカインまたは、高度に特異な蛋白をいう。growth factorsは、T cell, 単球, 血小板ほか, いろいろな細胞でつくられる。骨髄の幹細胞の分裂と分化を促進するgrowth factorはcolony stimulating factorと呼ばれる。現在までにplatelet derived growth factor (PDGF), epidermal growth factor (EGF), fibroblast growth factor (FGF), transforming growth factor (TGF), transforming growth factor (TGF)が知られている。
成長ホルモン	growth hormone	GH	脳下垂体前葉より分泌され, 肝でのIGF - 1 (insulin like growth factor - 1) 合成を促進させ, 骨の発育を促進させるホルモン。近年, 侵襲下でその分泌が亢進し, 強力な蛋白同化作用を発揮することが知られるようになった。
成分栄養剤	elemental diet	ED	窒素源として結晶アミノ酸あるいは低分子ペプチドが使用されており, すべての栄養成分が化学的に明らかであり, 消化を必要としない経腸栄養剤。
セサミン	sesamin		ごま (sesame) の種子に含まれる微量成分でラット乳癌発症抑制作用, 生体内抗酸化活性, 免疫賦活化作用, 及び抗高血圧作用などが知られている。
接着因子	adhesion molecule		細胞どうし, または細胞と細胞外基質の接着は接着分子と総称される分子群により仲立ちされる。同種細胞間接着ではカドヘリンファミリー, 免疫グロブリンスーパーファミリー, 異種細胞間接着にはセレクチン, CD44, 免疫グロブリンスーパーファミリーが, 細胞と基質間接着にはインテグリンファミリーが関与している。
セリン	serine	Ser	
セレノシステイン	selenocystein		セレンタンパク質の含有するセレノシステイン残基は, いずれもオパール (TGA: チミン, グアニン, アデニン) 終止コドンでコードされている。TGA認識の機構やタンパク質へのセレン (Se) の特異的取り込み機構に関する研究において, セレノシステイン残基が注目されている。
全身性炎症反応症候群	systemic inflammatory response syndrome	SIRS	炎症に対する生体の全身的な反応を表現する概念である。細菌感染症のほか, 外傷, 熱傷, 肺炎などにおいても, サイトカインをはじめとする様々なメディエーターにより共通する炎症反応が惹起されていることが明らかとなり, 提唱された。実際の患者においてSIRSは, 脈拍数, 体温, 血球数など簡単な指標により判定される。
全身蛋白代謝回転	whole body protein turnover		放射性または安定同位元素などを用いた蛋白代謝動態解析における概念である。一日の体蛋白の合成量と分解量とが一致している定常状態 (steady state) では, 体蛋白合成速度 (S:g/day), 体蛋白分解速度 (B:g/day) と蛋白代謝回転 (whole body protein turnover:T) とは等しくなる。一日の体蛋白の合成量と分解量とが一致しない非定常状態 (non steady state) では, SとBのうち少ないほうをTとする (1953年: Reiner) 古典的定義があるが, ほかにBをもってTとするもの等, その定義については, 現在なお一致したものは無い。

選択的腸管浄化法	selective gut decontamination		口・咽頭，胃腸管における好気性潜在的病原菌のコロニー化を防止することにより，全身の感染を予防する一つの方法である．主として，ICU領域の患者に対して内因性重症感染症，MOFの予防を目的として試みられている．トブラマイシン，コリスチン，アンフォテリシンBなどを経鼻胃管から胃内に投与したり，また，口腔・咽頭粘膜に塗布する．
線溶系	fibrinolytic system		プラスミノゲンをtissue plasminogen activator (t PA) が活性化してプラスミンとする系．
総括的機能	integrity		
阻血再灌流障害	reperfusion injury		虚血後の再灌流を契機として臓器障害が進行するparadoxicalな現象をさす．心臓，脳の虚血性疾患や移植臓器の血流再開の際にも生ずる．虚血によるcalcium overloadと活性酸素が重要な役割を果たす．例えば肝臓の温阻血後再灌流早期（1時間）にはクッパー細胞や酸素フリーラジカル，エイコノサイトが，後期（6～24時間後）には好中球浸潤や肝壊死が関与し細胞障害を生ずる．
組織因子	tissue factor	TF	細胞膜表面に存在するVII/VIIa因子受容体で，細胞表層におけるVII因子の活性化とVIIa因子によるX並びにIX因子の活性化に関わり，外因性凝固反応の実質的な開始機構を担っている．
組織因子阻害剤	tissue factor pathway inhibitor	TFPI	組織因子の制御因子で三つのKunitz型阻害領域をもつプロテアーゼインヒビターで，活性化されたXII因子およびX因子と複合体を形成してその活性化を阻害する．
損傷重症度スコア	injury severity score	ISS	外傷患者の重症度を判定する指標である．まずAIS (abbreviated injury scale) により顔面頸部，頭部，胸部，腹部，四肢骨盤及び体表の6か所に分け1 (minor) から5 (fetal) に分類する．AISの点数の思い3項目各々の得点の2乗の和がISSである．

和文表記	英文表記	略語	解説・備考
【た行】			
代謝亢進状態	hypermetabolic state		外傷，敗血症，外科手術，熱傷などエネルギー要求度が亢進した状態．
代謝性アシドーシス	metabolic acidosis		酸の産生過剰，酸の排泄不全，塩基の過剰喪失の結果起こるアシドーシス．その特徴はアルカリ予備量の減少で，非代償型ではpH < 7.35になる．近年，ビタミンB ₁ 非含有高カロリー輸液の合併症として注目されている．
体組成	body composition		身体を構成する成分．原子，分子，細胞，組織等の身体構成レベルにおける主要構成成分が知られている．
体内時計	circadian clock		日内変動を制御する中枢とそれに関する制御する蛋白が存在している．
大量麻薬麻酔	high dose morphine anesthesia		外科侵襲の緩和をもたらすとされている．
n-3多価不飽和脂肪酸	n-3 polyunsaturated fatty acid	PUFA	carbonから最初の不飽和結合までの距離が3の多価不飽和脂肪酸．
多価不飽和脂肪酸	polyunsaturated fatty acids	PUFA	血清や細胞膜のリン脂質の構成成分．n-6，n-3 PUFAは哺乳動物における必須脂肪酸．
多臓器不全	multiple organ failure	MOF	肝，腎，心，肺などの重要臓器が同時に機能不全に陥ること．多臓器障害・複合臓器不全（不可）
ダブルバッグ型TPN製剤	double bag preparation		一つの大型プラスチックバッグを隔壁で仕切り，糖・電解質液とアミノ酸液を別々に収容し，用時に開通させて混合投与する形の静脈栄養輸液製剤．
短鎖脂肪酸	short chain fatty acids	SCFA	脂肪酸骨格の炭素数が4個以下の脂肪酸．近年，大腸粘膜上皮に対するintraluminalエネルギー基質として注目されている．腸内細菌による未消化多糖（一般に食物繊維と呼ばれる）を基質として嫌氣的発酵によって産生される．短鎖脂肪酸の主なものは酢酸，プロピオン酸，酪酸．
炭水化物	carbohydrate		含水炭素（不可）．
短腸症候群	short bowel syndrome		小腸を大量に切除されたのちに生じる難治性の下痢，消化吸收不全，進行性の体重減少，慢性栄養失調を特徴とする消化吸收不全症候群．
蛋白（質）	protein		原則的に漢字表記．
蛋白合成速度	fractional protein synthesis rate		アミノ酸の体内動態の分析に用いられるパラメーターの一つ． ¹⁴ C leucineなどを用いて遊離アミノ酸と蛋白結合アミノ酸の放射活性比から計算する．
蛋白量			蛋白質量（可）．
蛋白代謝回転	protein turnover		生体内における蛋白の合成と分解の動態．一般的には同位元素を用いて蛋白の合成速度と崩壊速度を求めて総合的に評価する．
蛋白代謝動態	protein metabolism		投与栄養素の生体に及ぼす影響に関する評価法の一つ．蛋白合成速度と崩壊速度から評価する．

蛋白熱量栄養不良	protein energy malnutrition	PEM	栄養不良の中でも蛋白と熱量の両方の摂取量の不足により来した栄養不良．protein calorie malnutrition (PCM)：慣用的に使用しているが不可．
チアミン	thiamine		ビタミンB1．近年，高カロリー輸液の合併症としての乳酸アシドーシス，ウェルニッケ症候群との関連で注目されている．
窒素出納 / 窒素バランス	nitrogen balance		生物体による全窒素摂取量と全窒素排泄量の差．健康成人では $N_{in} = N_{out}$ ， $N_{in} > N_{out}$ ：正の窒素平衡， $N_{in} < N_{out}$ ：負の窒素平衡．
窒素代謝	nitrogen metabolism		窒素を分子内に持っている物質の代謝．
窒素平衡	nitrogen balance	N balance	窒素出納・窒素バランス（可）．
中鎖脂肪	medium chain triglyceride	MCT	炭素数が6～12の脂肪酸から構成される脂肪．胆汁酸を欠いた状態でも水解が速やかで，ミセルを形成しなくても単純脂肪酸で細胞内に取り込まれ，細胞内では再エステル化されず脂肪酸のまま門脈血中に入る．
中鎖脂肪酸	medium chain fatty acids		炭素数が6～12の脂肪酸．
中鎖脂肪乳剤	medium chain triglyceride emulsion		中鎖脂肪酸を多く含んだ脂肪乳剤．長鎖脂肪酸と中鎖脂肪酸を1：1に含んだものが臨床応用されている．
中心静脈栄養	central venous nutrition		中心静脈にカテーテルを挿入し，高カロリー輸液を行うこと．
中心静脈カテーテル	central venous catheter	CVC	中心静脈に先端を留置したカテーテル．抗血栓性が高く，適度な柔軟性が必要．
中性脂肪	triglyceride	TG	トリグリセリド（可）．現在はtriacylglycerol（トリアシルグリセロール）が標準的．
腸管粘膜透過性	intestinal mucosal permeability		生理的な経路を通らないで粘膜構造を物質が通過すること．絨毛構造の傷害，粘膜構造が破綻し，腸管のバリアー機構が障害されると透過性が亢進する．その機能検査には正常状態の消化管では吸収されにくい物質を投与して，その物質の血中あるいは尿中出現を見る．
腸管粘膜防御傷壁	gut barrier function		
腸管バリアー機能（腸管粘膜防御機能）	gut barrier function		腸管は多種のウイルス，細菌，有害異種蛋白の侵入門戸となるので，これらに対する防御機構を持っている．この機構は非免疫的障壁と免疫的障壁からなっている．腸粘液，分泌型IgA，腸細胞，細胞間接着，粘膜下の免疫担当細胞により構成されている．
腸間膜リンパ節	mesenteric lymph node	MLN	腸管附属リンパ組織を構成し，腸管バリアー機能を担当している．
長鎖脂肪酸	long chain fatty acid		
長鎖脂肪	long chain triglyceride	LCT	炭素数が14～18の脂肪酸で構成される脂肪．

腸粘膜萎縮	intestinal mucosal atrophy		飢餓時，化学療法時，ストレス時など，腸管内を通過する栄養素が不足すると腸粘膜が萎縮する．その結果，腸管のバリアー機能が低下し透過性が亢進して腸管内のバクテリアやトキシンが体内へ移動しやすくなる．
チロシン	tyrosine	Tyr	アミノ酸の一種．
通常体重比	usual body weight %		実測体重値 / 健康時体重値 × 100．10%以上の減少は低栄養と見なされる．
低残渣食	low residual diet	LRD	自然食ミキサー食と成分栄養剤との中間的なもので，糞便中の残渣を減少させる経腸栄養剤．糖質としてデキストリン，窒素源としてカゼイン，脂肪として乳化中性脂肪などを用い，電解質，ビタミンを含む経腸栄養剤（食）．
低酸素血症	hypoxemia		血中酸素減少，動脈血中酸素飽和が正常以下であること．
低酸素症	hypoxia		呼気中，動脈血中あるいは組織中の酸素が正常レベル以下に減少すること．
低Na血症	hyponatremia		
低分子ペプチド	small peptide		dipeptide，tripeptide程度のペプチドの総称．oligopeptideと同義．
DAB誘発肝癌	DAB induced liver cancer		DABを長期間摂食させることにより発生する肝細胞癌．
TPP効果	TPP effect		患者溶赤血球のトランスケトラーゼ活性を測定し，その後にTPPを添加し，トランスケトラーゼ活性が上昇した場合にビタミンB1欠乏が疑われる．
デキストロース	dextrose		六炭糖
滴定酸度	titratable acidity		酸を中和するのに必要な塩基の量により決定される酸度．
転写	transcription		ある種の核酸の遺伝暗号の情報が，他の種の核酸へ移されること．特にmRNAがRNAポリメラーゼによってDNAを鋳型とし，塩基配列の相補性によって合成される過程をいう．
転写因子	transcription element		DNA上の特定のヌクレオチド配列に特異的に結合して，その部分の転写を促進させる蛋白質．
銅欠乏	copper deficiency		血漿銅値の低下を伴い，白血球好中球減少，血小板減少，貧血，骨折などの症状を呈する．銅を含まない長期のTPNに合併する．
糖新生	gluconeogenesis		炭水化物では無い物質（蛋白や脂肪）よりグルコースを産生すること．
特異動的作用	specific dynamic action		消化吸収や静脈内への新しいエネルギー基質の流入によって引き起こされた代謝への刺激による余分なエネルギー消費．全エネルギー消費の5～10%にあたる．

トランスケトラーゼ 活性	transketrase activity		五炭糖リン酸回路で炭素を移動させる酵素．活性型ビタミンB ₁ がその際に補酵素として働き．活性型ビタミンB ₁ が不足するとこの活性が低下するので，相対的B ₁ 欠乏を発見するのにこのトランスケトラーゼ活性を測定することが勧められている．
トランスホーミング 増殖因子 - 1	transforming growth factor - 1	TGF - 1	他のサイトカインと干渉するような多機能性をもったサイトカイン．血小板や骨細胞によって産生されるが，多くの他の細胞株によっても産生される．創傷治癒過程において線維芽細胞や血管内皮細胞の遊走や増殖に促進的に働く．
トリグリセリド	triglyceride	TG	triacylglycerol，三つの水酸基の各々が脂肪酸でエステル化されたグリセロール．
トリプトファン	tryptophan	Try	アミノ酸の一種．
トレースアミン	trance amines		生体内にごく微量含まれるアミンのこと．アミンはアミノ酸から脱カルボキシ反応によりつくられる．代表的なアミンとして，カテコラミン，セロトニン，ヒスタミン等があるが，これらのものは産生量も多くトレースアミンと呼ばない．
トレオニン	threonine	Thr	アミノ酸の一種．

和文表記	英文表記	略語	解説・備考
【な行】			
内視鏡的胃瘻造設術	percutaneous endoscopic gastrostomy	PEG	内視鏡にて胃内腔を観察，位置を同定し，ここに向かって経皮的に腹壁を貫通させて，ガイドワイヤーを胃内に挿入，これに口から挿入した胃瘻チューブをつなぎ，胃壁，皮下，皮膚を通し体外に誘導，胃瘻を作成する方法．
ナチュラルキラー細胞	natural killer cell	NK cell	生体防御，免疫監視をつかさどる細胞で抗原感作や主要組織適合性複合体（MHC）の関与なしにウィルスや腫瘍を非特異的に障害する細胞．NK細胞に感受性を有する ⁵¹ Crで標識された細胞とco cultureし，細胞障害により放出された ⁵¹ Crを測定することでNK活性を見ることができる．
日内変動	circadian variation, circadian rhythm		24時間の周期をもつこと．
乳酸アシドーシス	lactic acidosis		低酸素下では細胞内NAD ⁺ を再生するためpyruvateがlactateに還元され，アシドーシスが生ずる．
尿中総窒素排泄	total urinary nitrogen	TUN	伝統的なmicro Kjeldahl法およびその変法により測定される尿中の全窒素排泄をいう．Pyrochemiluminescence法などの新しい方法もある．外傷後，術後などの患者では，尿素以外の形で尿中に排泄される窒素量も無視できないため，尿中尿素排泄量（urinary urea nitrogen:UUN）で窒素出納（nitrogen balance）を測定すべきではないとの報告もある．
尿中尿素窒素排泄	urinary urea nitrogen	UUN	尿中に排泄された尿素窒素量．
ヌクレオシド	nucleoside		塩基（purine, pyrimidine）と五単糖（ribose, deoxyribose）から成る．
ヌクレオチド	nucleotide		塩基（purine, pyrimidine），五単糖（ribose, deoxyribose）および燐酸から成る．
熱発生効果	thermogenic effect		消化吸収や静脈内への新しいエネルギー基質の流入によって引き起こされた代謝への刺激による余分なエネルギー消費．全エネルギー消費の5～10%にあたる．
熱量	energy		カロリーは熱量を示す単位．
熱量/N比			エネルギー/N比（可）．
熱量計	calorimeter		直接熱量計では，全身の熱生産量を測定，間接熱量計では，酸素消費量と二酸化炭素産生量とから熱量を計算するもので，呼気を集めるDouglas bag法，Reverse Fick法，computed open circuit indirect calorimetryなどがある．

熱量測定法	calorimetry		直接熱量測定法（direct calorimetry）と間接熱量測定法（indirect calorimetry）とがある．直接熱量測定法は，全身を大型の測定装置の中に入れて，身体からの熱の放散と吸収とを直接測定する方法である．間接熱量測定法は，呼気ガス分析から酸素消費量と二酸化炭素産生量，さらに安静時エネルギー消費量などを得る方法である．
粘膜バリアー	mucosal barrier		腸管，肺，尿路系など粘膜上皮組織の正常形態の維持，粘液の分泌，分泌性IgA（secretory IgA:s IgA）の分泌，胃酸による殺菌，気道粘膜上皮の繊毛による細菌や異物，炎症産物の排除などが，粘膜バリアーを形成し，微生物およびその産物の体内への侵入を防いでいる．
粘膜免疫	mucosal immunity		胃腸管，呼吸器系，泌尿生殖器系の粘膜面に存在する免疫機構をいう．
ノーザン解析	Northern blot analysis		抽出したmRNAをゲル上で分離し膜に移し（transfer），標識されたDNA（RNA）プローベを用いhybridizationし標的とする物質のmRNAを解析する方法．

和文表記	英文表記	略語	解説・備考
【は行】			
ハーゲマン因子 (第XII因子)	Hageman factor		内因系凝固反応の初期に異物面と接触して凝固を引き起こす接触因子の一つで、XIIaはXI因子やVII因子を活性化すると同時にキニン系のプレカリクレインをカリクレインとする。
敗血症	sepsis		感染に対する全身性炎症性反応で、SIRSと同一の診断基準を満足するもの、すなわち、sepsisは感染によるSIRS。
敗血症性ショック	septic shock		重症セプシスの一分症(subset)。適切な補液でも持続する血圧低下(収縮期血圧<90mmHgまたは平時の収縮期血圧より40mmHg以上の血圧低下)で、sepsisに合併するもの。血管作動薬使用により血圧が維持されている場合でも、臓器機能障害・循環不全(乳酸アシドーシス、乏尿、急性意識障害など)があれば、septic shockとする。
バクテリアル トランスロケーション	(gut) bacterial translocation	BT	正常の消化管粘膜から生菌が腸間膜リンパ節あるいは門脈、さらにそれ以遠へ移行すること。エンドトキシンなど菌体成分の一部や真菌の侵入など、microbial translocationと呼称される概念も含めて広義に解釈される。
播種性血管内凝固 症候群	disseminated intravascular coagulation	DIC	種々の基礎疾患の存在下に血液凝固系が活性化されることにより全身の微小血管内に血栓が形成され、その過程において凝固因子や血小板が消費される症候群。血液凝固異常すなわち、出血傾向とともに、微小血栓による臓器循環不全がもたらされる。
白血球凝集	leukocyte aggregation		血管内皮障害による接着分子(E-セレクチンなど)の発現を介して活性化白血球のtethering, rollingおよびadhesionが惹起され、白血球が凝集し血管外へ遊走する。
発熱物質	pyrogen		体温上昇を起こす物質。免疫系の細胞で産生される炎症性サイトカイン〔interleukin(IL-1, IL-2, IL-6), interferon(IFN), tumor necrosis factor(TNF), GM-CSF, macrophage inflammatory protein-1(MIP-1)など)。
ハプテン	hapten		単独では抗体を産生できないが、特異抗体との結合は可能な抗原。
バリン	valine	Val	必須アミノ酸の一つで、分岐鎖アミノ酸に分類される。
半減期	half life		放射性物質の放射能が崩壊によって元の値の半分に減じるのに要する時間。
半減期	half time		化学反応あるいは酵素反応の一次反応において、物質(基質)の半分が変化または消失する時間。
半消化態栄養剤	semidigested diet		自然食を人工的に処理した高エネルギー、高蛋白のある程度消化された形の栄養剤で、窒素源が蛋白質あるいはカゼイン、脂肪含有量が比較的多いことが消化態栄養剤と異なる。

ピーシーアール	polymerase chain reaction	PCR	極微量のRNAあるいはDNAを特異的に増量させる方法。
ひきがね	trigger		比較的小さい入力により比較的大きい出力をもたらす装置や道具などを表す語から転じて、ある病態を増幅させる生理的誘因。
非経口栄養	parenteral feeding		胃腸管または肝を通過する以外の方法によって栄養物質を生体内に投与すること。通常、静脈内注射をいう。
非経口投与	parenteral administration		胃腸管または肝を通過する以外の方法によって物質を生体内に導入すること。すなわち、静脈、皮下、筋肉、骨髄内注射をいう。
非必須アミノ酸	non essential amino acid	NEAA	生体によって合成できるので、食事によって摂取しなくても良いアミノ酸。ただし、年齢や病態により一部の非必須アミノ酸が必須アミノ酸となる。
非侵襲的モニタリング	non invasive monitoring		皮膚の貫通を要する装置の挿入を含まない生体情報監視装置。
ヒスチジン	histidine	His	塩基性アミノ酸で非必須アミノ酸。
微生物	microorganism		単一の細胞またはそれに近い簡単な形態の微小な生物群を指す。病原微生物は、原虫、真菌、細菌、リケッチア、ウイルスなどに分類される。
微生物フローラ	microbial flora		個体内に棲息する種々の微生物。たとえば、腸内ではintestinal flora、口腔内ではoral flora。
非代償性アシドーシス	uncompensated acidosis		正常の酸塩基平衡の回復が不可能または不十分のため、体液のpHが正常値以下となる状態。
ビタミンB1欠乏性アシドーシス	vitamin B1 deficiency induced metabolic acidosis		ビタミンB1はピルビン酸脱水酵素の補酵素であるチアミンピロリン酸の前駆体であるため、ビタミンB1欠乏下ではピルビン酸からアセチルCoAへ代謝されにくくなり、大量の糖を投与するとピルビン酸から乳酸へ代謝され、乳酸アシドーシスを引き起こす。
非蛋白性カロリー窒素比	non protein calorie nitrogen ratio	NPC/N	アミノ酸を効率よく蛋白合成に向かわせるための糖・脂肪カロリー投与量と窒素投与量の比。適正比は、150～200。
非蛋白熱量	non protein calorie		栄養素のうち、エネルギー源としての糖・脂肪のカロリー量。
必須アミノ酸	essential amino acid	EAA	動物によって生合成できないアミノ酸で、遊離アミノ酸あるいは蛋白質として食事によって摂取しなければならないもの。
必須脂肪酸	essential fatty acid		不飽和脂肪酸のうち、生体内で合成されない多価不飽和脂肪酸（polyunsaturated fatty acids; PUFA）を必須脂肪酸といい、メチル基から最初の二重結合の位置より、 $3(n-3)$ 系（リノレン酸など）、 $6(n-6)$ 系（リノール酸、アラキドン酸など）の2種類に分けられる。成長、生殖、健康の維持に必須であり、とくに $3(n-3)$ 系は予防医学面でも応用されている。

必要栄養量	nutritional requirement		生命を維持し，健康な日常生活を営むため，また成長，発育を達成するために必要な摂取すべき栄養量．日本人の栄養所要量は，最低必要量に多少の安全率を加味して5年毎に改訂されている（厚生労働省保健医療局健康増進栄養課編「日本人の栄養所要量」）．
非必須アミノ酸	non essential amino acid	NEAA	動物が必要とするアミノ酸のうち，体内で合成できるもの．
非必須脂肪酸	non essential fatty acid		飽和脂肪酸および二重結合を一つ持つ不飽和脂肪酸は生体内で合成されるため，摂取量が不足しても欠乏症状は出現しない．
肥満脂数	obesity index		$\{ (\text{体重} - \text{標準体重}) / \text{標準体重} \} \times 100$ ．体脂肪量を表す簡便式．
病因	etiology		疾患あるいは病的過程の起源あるいは進行の様式．
病原体	pathogen		疾病を起こす微生物および微生物関連の物質．
標識アミノ酸	labeled amino acid		標識化されたアミノ酸．
微量元素	trace elements		生体組織中にきわめて微量しか存在しない無機元素．きわめて微量とは，通常，鉄の血清中濃度（1.2 μg/ml）以下を指す．現在，必須微量元素は，鉄，ヨウ素，銅，亜鉛，マンガン，コバルト，モリブデン，セレン，クロムおよびスズ．
フェニルアラニン	phenylalanine	Phe	必須アミノ酸の一つ．芳香族アミノ酸に属する．
不感蒸泄	insensible perspiration		皮膚，呼吸器粘膜から液体として認められる前に水蒸気が蒸散すること．
不感蒸泄性水分喪失	insensible water loss		不感蒸泄による水分の喪失．
副腎皮質刺激ホルモン	adrenocorticotropic hormone	ACTH	下垂体前葉から分泌され，副腎皮質の栄養と発育を支配し，その機能活性を高めるホルモン．
ぶどう糖負荷試験	glucose tolerance test	GTT	ぶどう糖75gの経口摂取に続いて，空腹時血糖が即座に上昇し，次いで，2時間以内に正常に戻る．糖尿病患者では，血糖増加がより大きく，通常，正常への復帰が遅れる．
ぶどう糖輸液	dextrose solution		右旋性の単糖類（ヘキソース）であるグルコースを主成分とする輸液製剤．
不飽和脂肪酸	unsaturated fatty acid		一つ以上の二重結合または三重結合を含む炭素鎖を持つ脂肪酸．
プラズマフェレシス	plasmapheresis		全血液を生体から取り出し，遠心沈殿により分離された細胞成分を生理食塩水または他の代用血漿に懸濁して再びその生体に戻すこと．現在の血液浄化法ではほとんど行われていない．
フルクトース	fructose		果糖．生理学的に重要なケトヘキソースで，しょ糖の加水分解産物．インスリン欠損時には代謝されてグリコーゲンに変わる．
分圧	partial pressure		混合気体中の一つの構成要素によって示される圧．通常，mmHgあるいはTorrで表す．液体中に溶解している気体の場合は，溶解気体と平衡状態にある気体の圧がその分圧である．PCO ₂ ，PO ₂ などのように大文字のPの後に化学種を示し添字を付ける．

分解産物	degradation product		化学物質の変化によって生じた単純な物質。
分岐鎖アミノ酸	branched chain amino acid	BCAA	アミノ酸の炭素骨格が直鎖ではなく分岐しているアミノ酸で、ロイシン、イソロイシン、バリンがこれに含まれる。
ヘキソースリン酸回路	hexose monophosphate pathway		グルコース6-リン酸がリボース5-リン酸に酸化される過程。生じたNADPH、五炭糖とその誘導体は、ATP、CoA、NAD ⁺ 、FAD、RNAおよびDNAの構成成分となる。これらの反応は細胞質で生ずる。
ヘパリン負荷後血漿DOA	postheparin plasma diamine oxidase activity		主に小腸粘膜の絨毛上部に分布し、1～2日で代謝回転しているdiamine oxidase (DO)は、ヘパリン静注後に血中に移行するので、ヘパリン負荷した後に採血した血漿中DO活性を測定することによって腸粘膜のintegrityを定量的に評価しようとするもの。
ペプチド	peptide		2分子以上のアミノ酸からなる化合物。
ペントース燐酸経路	pentose shunt		ヘキソースリン酸回路と同じ。
防御機構	defense mechansim		微生物の宿主内侵入あるいは宿主内増殖に対して個体を守る機序で、特異的な免疫機構の他に皮膚・粘膜の物理的バリアー、好中球・単球・マクロファージなどの食細胞、補体などによる非特異的な防御機構がある。
芳香族アミノ酸	aromatic amino acids	AAA	側鎖にベンゼン等の環式化合物を含むアミノ酸。フェニルアラニン、チロシン、トリプトファン。
飽和脂肪酸	saturated fatty acid		炭素原子間で不飽和結合を持たない炭素鎖を有する脂肪酸。これ以上水素と結合できないため飽和と呼ばれる。
補液	fluid replacement		主に脱水の治療目的で、胃腸管または肝を通過する以外の方法によって水分を生体内に投与すること。
補体	complement		正常血清中に存在する20種類の蛋白群の総称で、抗体の溶菌、溶血や、白血球の遊走、貪食などの際に補助的因子として作用するもの。
補体結合	complement fixation		抗原・抗体・補体複合物の形成。
補体結合試験	complement fixation test		抗原抗体系（第一反応系）に一定量の補体を加え、抗原・抗体・補体複合物が形成されるかどうかを、あとから血球と溶血素（第二反応系、溶血系）を加え、溶血反応での有無で判定する。すなわち、第一反応系で複合物が形成され補体が消費されているならば、溶血反応は起こらない。この反応は、Wassermann反応やウイルスの血清学的診断に用いられる。
補体結合抗体	complement fixing antibody		抗原・抗体・補体複合物の形成における抗体。
補体結合反応	complement fixation reaction		補体結合試験と同じ。
ホメオスタシス	homeostasis		種々の機能や体液、組織の化学的組成についての身体の平衡状態およびこのような身体的平衡が維持される過程。

ホルモン

hormone

生体を調節・統御することを唯一の目的として作られ、血流によって運ばれた標的臓器に作用する有機化合物。

和文表記	英文表記	略語	解説・備考
【ま行】			
マイクロダイアリシス	microdialysis		マイクロダイアリシス用チューブを組織内と血管内に留置し、灌流液中の物質を測定することによって、in vivoでの代謝を研究する方法である。たとえば、灌流液中のグリセロール濃度の測定による脂肪分解 (lipolysis) の研究がある。
マイクロフィラメント	microfilament		マイクロフィラメントは微小管、中間径フィラメントとともに、細胞骨格と呼ばれ、細胞形態の維持や様々な生理機能の発現に重要で、ほとんどの細胞に多少を問わず存在する。例えば、肝の毛細胆管周囲に存在する一連の収縮タンパク質は、円滑な胆汁流出に必要であるという。
マクロファージ	macrophage		大食細胞は、偽足を出して、 這 回りながら細菌や他の細胞をまるごと、または破片にして食べこむ細胞である。細網内皮系の貪食細胞 (phagocytic cell) である。疎性結合組織における組織球 (histiocyte) のほか、特殊化したKupffer細胞もこれにふくまれる。炎症反応におけるmediatorとされるIFN γ / β , TNF α , IL - 1を産生する。
抹梢静脈栄養	peripheral parenteral nutrition		部分静脈栄養との混乱を避けるため略語は使用しない。
マトリックス	matrix		例：細胞外マトリックス 基底膜や結合組織がこれに含まれ、ファイブロンクチンが主要構成物質。分解には複数のプロテアーゼが関与し、これに対し内因性インヒビターが産生される。
無アルブミンラット	Nagase albuminemic rat	NAR	1979年SDラットから分離育成されたミュータントで血清総蛋白はSDラットと変わらないが、アルブミンが5 mg/dlと極めて少ない。
メタロチオネイン	metallothionein		金属と硫黄に富み、金属を除いた部分 (チオネイン) の分子量が約6,000の低分子量蛋白質で、細胞質に存在する。構成アミノ酸の1/3がシステインで、SH基3個に1個の重金属 (Ca, Hg, Zn, Cu, Ag) が最大7分子結合できる。また、その遺伝子には、重金属やグルココルチコイド、インターフェロンなどと相互作用する配列が存在し、エンハンサーとして働く。この蛋白の本来の生理意義は解明されていないが、重金属の毒性を軽減する作用を示す。
メチオニン	methionine	Met	
メチオニンインバランス	methionine imbalance		輸液アミノ酸からメチオニンを除いたものを methionine deprived amino acid imbalanceと呼ぶ。
メチオニン欠乏輸液	methionine free TPN		メチオニンは蛋白合成 (メチル基の供給)、DNA合成 (ポリアミン合成) システインの前駆物質として重要であり、正常、悪性細胞の増殖に不可欠である。これを培養液、輸液から欠乏させるとDNA, RNA合成が阻害、in vivoでも腫瘍増殖が抑制される。

3 - メチルヒスチジン	3 - methylhistidine	3 MH	ヒト尿中に発見され，筋原線維のアクチン，ミオシンの構成アミノ酸でほとんどが骨格筋に存在する．再利用されないため尿中排泄量や3 MH / CRTNN比は骨格筋分解の指標とされる．健常人の一日排泄量は約50 mg．
メディエーター	mediator		いろいろな細胞で生成，遊離され，他の細胞に（時に自己にも）働きかけ様々な機能，効果を発現させる物質の総称である．各種のホルモン，サイトカイン，プロスタグランジン，酸素ラジカル（oxygen free radicals），補体，MDF（myocardial depressant factor），PAF（platelet activating factors）などがある．
免疫栄養法	immunonutrition		通常の経腸栄養剤（enteral formula）にアルギニン，RNA， 3 fatty acidなどを加え，免疫力を高めようとする方法．206例の消化器癌患者を対象としたrandomized trialでは術後感染症発症が有意に抑制された．
免疫賦活剤	biological response modifier	BRM	免疫調製剤（不適）．
モジュール栄養剤			モジュール食（可）．
モジュレーション	modulation		調製，変調 ある作用，効果の強さ，時間，パターン（持続的，継続的など）などを変えること．
モノアセトアセチン	monoacetoacetin		アセト酢酸とグリセロールのエステルで体内で速やかに加水分解され1gあたり約4.4 kcalのエネルギーを産生する．
モノクロナール	monoclonal		単クローン性の，一つの細胞から由来している，単一のクローンを有する，遺伝子構造が同一である．
モノクロナール抗体	monoclonal antibody		目的とする抗原の単一の抗原決定基に対してのみ特異的に反応する抗体で，力価も高い．

和文表記	英文表記	略語	解説・備考
【や行】			
夜間高カロリー栄養	nocturnal hyperalimentation		夜間のみ高カロリー輸液を行う方法である。持続的高カロリー輸液（continuous hyperalimentation: CH）による肝内胆汁うっ滞等，代謝上の問題を軽減できるほか，CHにくらべ日中の食欲低下が少ないという。
輸液回路	infusion line		輸液ライン。
輸液ポート	prognostic nutritional index		CVポートに同じ。
予後判定栄養指数		PNI	

和文表記	英文表記	略語	解説・備考
【ら行】			
リガンド	legand		生物活性の発現過程の大半は物質間の接触相互作用に基づく。このとき相手側より小さな物質をリガンド，大きな物質をレセプターという。酵素-基質複合体における基質，免疫反応におけるハプテンや抗原，細胞間情報伝達機構における神経伝達物質やホルモンまたは，受容体作動薬や遮断薬（拮抗物質）などがリガンドである。また，錯体中で中心に存在する金属原子に配位している原子またはイオンや分子などの配位子もリガンドという。
リコンビナント	recombinant		自然の，または人為的なDNA分子中の遺伝子の組み換え（recombination）から得られた細胞または生命体。そのような生命体や細胞と関連した“遺伝子組み換え技術による”-細菌を用いた recombinant DNA techniqueによってヒト成長ホルモン，ヒトインシュリン，ヒトインターフェロン，HBsワクチンなどを生成している。
リジン	lysine	Lys	
理想体重比	ideal body weight %		実測体重 / 理想体重 × 100
リポ蛋白リパーゼ	lipoprotein lipase		血管内皮に存在しカイロミクロンやVLDL，triglycerideを加水分解，脂肪酸を吸収する。
リムルステスト	limulus test		カブトガニ（Limulus polyphemus）の血球抽出成分がエンドトキシンによりゲル化することを利用したエンドトキシン検出法。
リンパ球サブセット	lymphocyte subsets, lymphocyte subpopulation		細胞表面抗原の違いをモノクローナル抗体をもちいて識別しT細胞（CD3（+），CD20（-））とB細胞（CD3（-），CD20（+））の割合を算出する。

レセプター・ アンタゴニスト	receptor antagonist		受容体拮抗物質．本来の作用物質と同様にレセプター（receptor site）に結合し，この作用に拮抗する物質をいう．
レチノール結合蛋白	retinol binding protein	RBP	トランスフェリン，プレアルブミンと並んで，rapid turnover protein（RBP）の一つである．肝で合成されるので，肝の分泌蛋白合成能の指標となるが，生物学的半減期は10～12時間と，アルブミンに比べ非常に短いため，著しい代謝変動に鋭敏に反応する．ビタミンA代謝と関連する物質であるため，ビタミンA欠乏などの影響を受ける点に注意を要する．
レプチン	leptin		脳組織で確認された2種の食欲抑制因子の一つで，他の一つはglucagon like peptide - 1（GLP - 1）．
ロイコトリエン	leukotrien	LT	広義のプロスタグランジンの一つで，A4，B4，C4，D4，E4，F4の6種が存在する．
ロイコトリエンB4	leukotrien B4	LT B4	ロイコトリエンA4から産生され，多核球のchemotaxisに關与する．
ロイシン	leucine	Leu	